

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No10	家族と利用者・事業所との間に意見を交わす機会が無いことはないが少ない。	ご家族に事業所内の取り組みやイベントをより知って頂き、関わりを持てるようにする。	利用者の日々の様子を写真や手紙、電話連絡などにより密にご家族に伝え、運営推進会議や家族会などの参加に繋げていく。	12ヶ月
2	No16	入居時のご意向やご要望は詳細に汲んでいるが、その後の相談の機会が少ないように思える。	ご家族に事業所内の取り組みやイベントをより知って頂き、関わりを持てるようにする。	利用者の日々の様子を写真や手紙、電話連絡などにより密にご家族に伝え、運営推進会議や家族会などの参加に繋げていく。	12ヶ月
3	No40	手作りの食事を楽しむ機会が少ない。イベントや外食時以外にも手作りの食事を作る機会も設けたい。	手作りの食事を楽しむ。	料理に精通する職員が他をひっぱり、手作りの食事やお菓子の作り方を広め、イベントの企画を増やしていく。	12ヶ月
4	No26	モニタリングの方法について、意見聴取の幅がせまい。	職員がケアプランへの理解を深め、利用者により良いサービスを提供するための必要な手順や方法を考える機会をつくる。	法人内のマニュアルや研修により、知識を深め意義のあるモニタリングができる体制をとっていく。	6ヶ月
5	No35	災害対策において、停電への備えをする必要がある。	災害を想定し、設備や物品の面で充実を図る。	懐中電灯の他に、ランタンなどの供給の電力に依存しない物品を充実させる。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。